

風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校
学校便り
2018. 2. 9

文責：校長 佐藤 真哉

子供同士・親同士仲良く & 学校と連携！ 「チーム立川中」をさらに強化！

1. 『環境が人を育てる』という言葉がありますが、立川地域は幼小中・教育委員会（行政）と隣接し連携しやすくとともに恵まれているなあと感じています。今年度は、生徒が学習・部活動・生徒会活動・地域活動・合唱等で実力を発揮することができました。そのたびに保護者・地域の方々からお褒めの言葉を頂くことができました。生徒・保護者・地域と学校の信頼関係が重要だということを改めて教えられました。また人的環境の視点から子供同士仲良く！保護者同士仲良く！この点もとても重要だと思います。

保護者アンケートからありがたいお言葉

「どうでもいいや、面倒くせ！」とか、しらけている性格でしたが、立川中学校に入り、まるっきり変わりリーダーシップを発揮したり、運動会・文化祭など本気になって取り組んでいて良かったなあと思う。感謝している。→ありがとうございます。我々教職員にとって何よりの励みになります。

2. グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、また急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつある。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域の中で、教育の中にも新たな影響が出ている。そこで現在、企業は将来を見据えて下記のような社会に求められる人材像（資質能力）をまとめています。

- ① 課題を見出し、チームで協力して解決する力（ベースとなる基礎学力）
- ② 困難から逃げずにそれに向き合い、乗り越える力（挫折を活かす）
- ③ 多様性を尊重し、異文化を受け入れながら組織力を高める力
- ④ 価値観の異なる相手ともお互いに学び合う対話力（コミュニケーション力・協調性）

生徒の皆さんが将来『自立』出来るようにご家庭と連携しながら立川中学校教職員一同今年も頑張ります！

☆学校生活の様子をホームページで是非ご覧下さい！

今後の教育界の動向

- ① 高校入試(H30 鶴北・酒西1クラス減、酒東探究科2クラス、普通科3クラス)
- ② 大学入学共通テスト…H32年度からスタート
 - ・思考力・判断力・表現力の一層の重視→記述式問題の導入(数学・国語)
 - ・英語2技能(読む聞く)→4技能(読む聞く+話す・書く)、民間試験を活用
- ③ 学習指導要領改訂…中学校(H30~32 移行期間、H33 全面実施)主体的・対話的で深い学び



メディア依存→学力、注意力低下・問題急増 保護者の責任で、親子間ルールを決めよう！

3. 本校ではインターネットを利用している生徒は全校の86%です。使い方によっては生活リズムの乱れやネットの危険性（性被害、個人情報流出、登校拒否、自撮り被害等）の弊害を心配しているところです。*資料参照
一昨年12月に公表された国際学力調査の結果では、日本の15歳の読解力は4位から8位に低下。文部科学省は原因の一つとして、スマホの普及に伴う長文を読む機会の減少を挙げた。スマホのゲームにはまった若者も目立ちネット依存の専門医療従事者は、「勉強や読書の時間が取れず、学力が落ちる傾向がある」と指摘する。スマホがそばに置いてあるだけで、「メールが来ないか」などと気を取られ、注意力が低下することが確認された。また、脳科学者の川島隆太・東北大教授がスマホを操作中の大学生約20人の脳の血流量を測定したところ、論理的な思考を行う大脳の前頭前野が「眠っているような、ボーッとした状態」になっていたという。川島教授は「脳が発達する18歳ぐらいまではスマホの使用を制限し、しっかりした文章を読む環境を作るべきだ」と訴えている。また本校では、LINE関連による人間関係のトラブル（いじめ）もありました。他校でも急増し深刻化してきています。
本校では、「アウトメディアチャレンジ」を年3回実施していますが、今後も各家庭で『約束事』をお子さんと確認して、目標に向かって生活できるような声かけや見守り（子供の一生を守る！）をお願いします。

「教育講演会」写真パネルと色紙



「文化祭・健全育成県民大会」写真パネル



齋藤清さんとの楽しかった思い出

感動の合唱でした！

平成29・30年度 山形県中学校体育・スポーツ優秀指定選手

- 【柔道】松浦翔、村井康輔、齋藤将輝、工藤大夢
 - 【スキー】仲川想菜【バドミントン】志田真倅【体操】日向陽菜
- （校訓…文武両道・為せば成る）



4. 学習と部活動の両立を考えて生活リズムを作りましょう！

18:30 帰宅	20:00	21:30	22:30 就寝	6:30 起床
夕食・自由	学習 90分	自由・入浴	睡眠 8時間	